

お寺での練習

対象:5歳児 作成日:2018年1月19日 作成者:進藤早苗

保育のねらい

- ・保育者や友達と公共の施設(お寺)を正しく使い、公共心を育むことでマナーやその場にあった振る舞いを気を付ける。
- ・ふくさの向き、輪を自分で気付く。



保育の振り返り

今日は茶道参観日に向けて、お寺の客殿で練習しました。お寺に行くと、気持ちもピシツとなるようで、いつもと違う雰囲気の子どもたちでした。話す声もヒソヒソという小さな声でトーンも気を付けることが出来ていました。(社会生活との関わり、道徳性・規範意識の芽生え)。

ふくさは、茶碗を運ぶ時に使います。お茶碗を差し出した後、畳みやすいように右側に輪がくるようにお運びの前に準備します。子どもたちが自分で確認しました。(思考力の芽生え)。